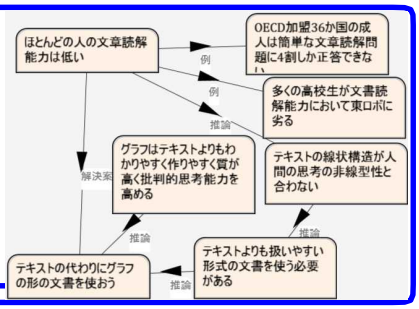
人とAIの協調を進化させる
セマンティックオーサリング基盤の開発

背景・狙い

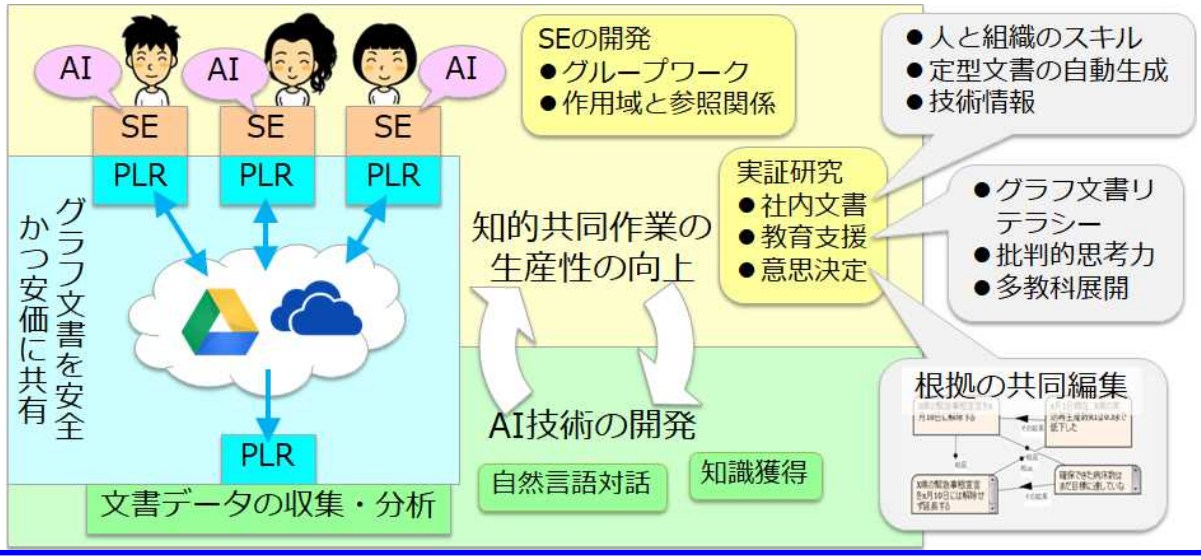
従来のテキスト文書は作成も読解も難しいので、右のようなグラフとして意味構造を明示することにより、文書の作成と読解を容易にし、人同士および人とAIの情報共有と合意形成の質と効率を高める。

キーワード グラフ文書、意味構造、共同作業



取組み内容

- グラフ文書共同編集ツール(セマンティックエディタ: SE)の開発
- グラフ文書データの収集・分析によるAIの開発およびSEとの連携
- 一般の文書処理業務、教育、意思決定等への応用



想定されるアプリケーション

- 一般の利用者がグラフ文書を安全に共有して共同編集可能にすることにより、オンラインの知的共同作業における生産性を高める。
- グラフ文書のデータを収集・分析して高性能のAIを開発し、それをグラフ文書の共同編集等において活用することにより、さらに良質で大量のグラフ文書を作成し活用するという右図のようなサイクルを回し、社会全体の知的生産性を持続的に向上させる。

研究開発テーマ名：「人間とAIの協調を進化させるセマンティックオーサリング基盤の開発」
委託先・再委託先：理化学研究所、OKI、東北大学、名古屋工業大学、アセンブローグ
主要研究者 ： 橋田 浩一(理研)、村田 稔樹(OKI)、乾 健太郎(東北大)、白松 俊(名工大)